

・事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法

## 機械を担保としたABL

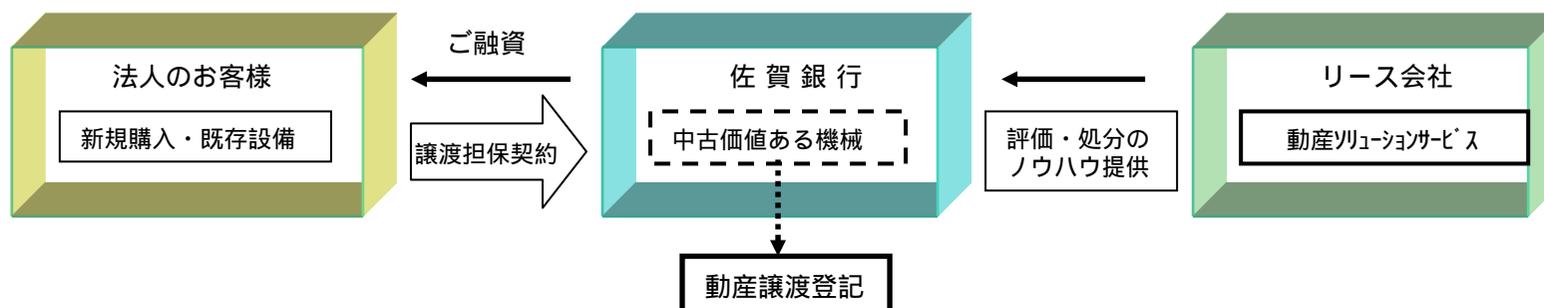
(金融機関名)佐賀銀行

1. 動機(経緯)	動産を担保とする仕組みを検討する中で、リース会社等がもつ「モノ」に対する審査能力や物件の処分能力機能を活用し、保証協会制度融資以外の独自の動産担保融資に取り組むことで、動産評価のノウハウを習得し、中小企業融資の推進を図る。
2. 概要	「機械担保融資スキーム」の取扱開始(平成18年12月) 当行が譲渡担保として取得した機械類を、リース会社が当初見積もった価格で引取ることを保証する制度を活用し、法人顧客に機械等設備資金や運転資金を融資するもの。当行はリース会社へ物件を引渡すまで担保管理上のリスクを負うが、担保物件の動産譲渡登記を行う(除く車輛)ことで、第三者対抗要件を具備する。  「動産格付サービス」の導入(平成19年9月) 動産評価会社と提携し、当行の評価依頼に基づいて動産の大まかな評価(格付)を行うサービスを導入。担保としての適正を低コストで評価することができ、動産担保融資さらにはABL取組みの足掛かりとするもの。
3. 成果(効果)	上記のような融資の仕組みづくりを行い、当行顧客に対して新たな動産ソリューションサービスを提供。 なお、機械担保融資については、コンクリートポンプ車を担保とした融資を実行。
4. 今後の予定(課題)	案件はあるものの、取扱い実績が十分でない現状にあることから、行内情宣活動の継続実施と、引き続き個別企業への提案融資を行っていく。

## 「担保・保証に過度に依存しない融資」：動産担保融資の事例

### 「機械担保融資スキーム」

- ・リース会社のノウハウを活用
- ・譲渡担保として取得した機械類を、リース会社が引取保証
- ・担保物件は動産譲渡登記を行う（除く車輛）ことで第三者対抗要件を具備



### 「動産格付サービス」

- ・動産評価会社のノウハウを活用
- ・動産の種類などにより7段階に格付し、動産の大まかな評価を行う
- ・担保としての適正を低コストで評価できる

